

令和6年度生涯学習部研修会（後期研修） 活動報告書

日 時：令和6年10月20日（日）

午前の部 9:00 ～ 12:10（受付 8:30～）

午後の部 13:10 ～ 16:20（受付 12:40～）

会 場：山形県立保健医療大学 運動療法評価実習室（山形県山形市上柳260番地）

参加者：午前の部 18名、午後の部 16名

内 容：午前の部 後期研修C-3 内部障害系理学療法学

「循環器疾患の評価と理学療法」

介護老人保健施設ほのか 池田浩旦 氏

午後の部 後期研修C-1 神経系理学療法学

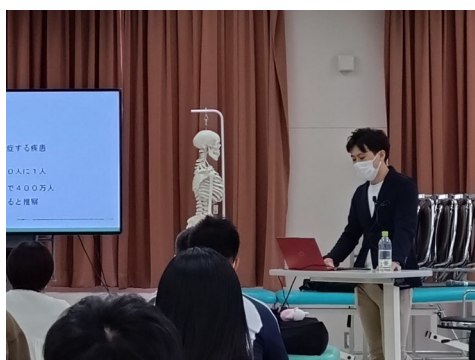
「脳卒中片麻痺者に対する長下肢装具を用いた歩行再建」

済生会山形済生病院 安倍恭子 氏

令和6年度生涯学習部研修会（後期研修）を終えて

今回の研修会は山形県内の後期研修者を主な対象としつつ、前期研修者・登録理学療法士の方など幅広い層の会員にご参加いただきました。

午前の部では、循環器疾患の評価と理学療法について、介護老人保健施設ほのかの池田浩旦氏にご講義いただきました。疾患についての知識やフィジカルアセスメント、また、実際の運動療法についても、どのような評価結果を参考にして立案・実践していくと良いかをお話しいただきました。後半は模擬症例への評価と運動療法についてグループワークを実施し、講義内容を実際の臨床でどのように活用するか、実感できたのではないかと思います。



午後の部では、脳卒中片麻痺者に対する長下肢装具を用いた歩行再建というテーマで済生会山形済生病院の安倍恭子氏にご講義いただきました。歩行障害や歩行トレーニングについての認識を共有した後に、実際に長下肢装具を着用し、後方介助での歩行誘導を受講者同士で行いました。後方介助での歩行誘導を練習する機会はありませんが、受講者同士で介助する側・される側を経験出来たことは、貴重な経験になったのではないかと思います。また、講師の安倍氏や補助スタッフの方にも指導にまわっていただき、どのように誘導

すると良いのか、誘導する際に何に注意しているかを知ることが出来たのではないかと思います。



今回の研修会ではグループワークや実技といった、対面でしか学べない内容を盛り込み、少しでも受講者の実臨床に活用できるよう、企画・運営いたしました。受講者が今回の研修会で学んだことを、それぞれの施設での業務に活かしていただければと思います。

文責：三友堂病院 富本裕樹

※写真は許可・承諾を得て掲載